

第1回（令和7年度）地域連携推進会議録

日時：令和8年1月20日（火）13:30～15:50

場所：グループホームあやめ荘

参加者：グループホーム入居者

グループホーム入居者の保護者

下久里地区 区長

北部地域障がい者相談支援センター

唐津市社会福祉協議会 地域福祉課

グループホーム管理者

サービス管理責任者

グループホーム生活支援員

様

様

様

様

様

1. 開会

（1）出席者紹介

（2）グループホーム見学（あやめ荘、ひまわり荘、すみれ荘）

（3）質疑応答

- ・定員何名に対し、何名入居中か。

あやめ荘定員 5 名に対し入居者 4 名、ひまわり荘定員 4 名に対し入居者 4 名、すみれ荘定員 7 名に対し入居者 6 名である。

- ・空きはあるのか、待機者はいるのか。

あやめ荘、すみれ荘それぞれ 1 名ずつの空きがある。待機者はいない。

- ・男性と女性混合で入居しているのか。

男性棟があやめ荘、ひまわり荘で女性棟がすみれ荘となっている。

- ・グループホームの入居者はどこまで自分たちでされるのか、掃除は誰がするのか、洗濯は自分たちで行うのか。

洗濯は自分で洗濯機に入れ、干す、乾いたら取り込みたんでしまうまで行う。自室の掃除は自分で行ってもらう。共有部分の掃除は順番で回ってくるため行ってもらう。食後の食器は本人に自分の分を洗ってもらう。

- ・日中活動はどこに行かれているのか。

B 型事業所や生活介護、一般就労に行かれている。

2. 議題

（1）障がいについて

P 2 ～

障害の種類、身体障害とは、知的障害とは、精神障害とは、発達障害とは

（2）グループホーム概要

P 7 ～

社会福祉協議会の福祉サービス利用援助事業について ■■■ さんより説明していただく

- ・どうしたらグループホームのような施設利用ができるのか、老人ホームとは違うのか、ど

ここに相談して実際どのサービスが使えるのか分かりにくい。

- ・障害福祉と高齢福祉と別れているため分かりにくいと思う。障害福祉サービスと高齢福祉サービスと対象となる人とニーズが違う。高齢者の施設は 65 歳以上の方で、介護を必要とされる方が対象。当グループホームは 20 代から高齢になっても介護が必要でなければずっと入居可能。介護サービスが必要になれば高齢福祉サービスに移行してもらっている。
- ・実際に高齢福祉サービスへ移行された方はいたのか。
- ・介護が必要となり宅老所に移行された方がいる。
- ・下久里地区にも安心サポートを必要としている方がいるが、どのようにしてサービス事業につなげればいいのかわからない。どこにどういえばいいのか。
- ・直接社協へ相談訪問されてもいいし、電話でもよい。本人や家族からの相談はまれ。相談支援事業所やケアマネージャーなど周りの支援者からの相談が多い。ライフラインが止まるなど本当に困ってから相談される人が多い。
- ・グループホームでの金銭管理はどこまでされているのか。
- ・通帳と印鑑の管理を了承された方については、金庫で預かり、週に 1 回生活費を引き出している。また、貯蓄額が多くなった場合には、家族に引き出しをお願いし、保管を依頼している。こちらで管理する通帳には、日常生活に必要な金額のみを残すよう調整している。
- ・グループホームで管理されている方と安心サポートを利用されている方の違いは何か。
- ・家庭環境の違い。本人のお金をあてにする家族もいるため安心サポートに預けることによってお金を引き出しにくい環境を作っている。

(3) 利用者の日常生活の様子について P 8 ～

グループホーム入居者の ■■■ さんにグループホームでの生活の様子をうかがう

(4) 支援者のタイムライン P 1 0 ～

グループホーム入居者の保護者の ■■■ さんより家族としての意見をうかがう

(5) 虐待、事故、ヒヤリハットの報告 P 1 1 ～

- ・C さんは自転車で福岡市内まで行ったのか
- ・遠方まで自転車で行かれる。

(6) 経営状況の報告 P 1 2 ～

北部地域障がい者相談支援センター ■■■ さんへ障がい支援区分について説明をしていただく

(7) BCP（業務継続計画）の策定状況について P 1 4 ～

- ・下久里地区全体で避難訓練をしたことがない。したほうがよいと考えているがなかなか難しい。
- ・地域住民と施設の入居者と一緒に避難訓練をするというところもある。当グループホームはしたことがない。数年前に唐津市全体の原発事故を想定した避難訓練に参加し、佐賀まで行ったがとても大変だった。実際、事故があった場合に車で移動できるのか、佐賀までたどり着けるのか不安である。

(8) 地域住民からの意見

P19～

- ・下久里地区での夏祭りに毎年参加させてもらっている。無料の食べ物コーナーでは以前何回もおかわりをする人がいたため一人1回に制限した。ご迷惑をかけているのではないかと危惧している。
- ・夏まつりにはどんどん参加してほしい。おかわりをする人は気づかなかった。去年は夏祭りでカラオケを歌った方がいたようだ。
- ・以前の入居者で朝から近所の家をピンポンダッシュしていると聞いたことがある。以前から近所の方にご迷惑をかけていることがあるのではないかと心配していた。
- ・どうやってその情報を得たのか。
- ・情報元はグループホームの世話人さんが下久里地区の人だったためその方から聞いた。
- ・近所からグループホームについての苦情はない。ピンポンダッシュをしていたことも知らなかった。
- ・下久里地区で横断歩道歩行中の死亡事故があった。近所の方が心配してグループホームを尋ねてくれるなど気にかけてもらいたい。入居者は自転車で出かけたり、歩いたりしているため交通ルールを守ること、交通事故に気をつけるようには頻繁に話している。
- ・グループホームの利用者がウォーキングをしているのを見かけたことがある。車通りが多い場所もあるため気をつけてウォーキングや自転車に乗ってほしい。

(9) 意見交換、質疑応答

- ・今後、グループホームのような施設は必要なのではないか。たくさんできてほしい。グループホームのような施設を利用したいと言う方が増え、需要は上がっていくのではないか。今後グループホームへの入居の需要があるなら建てる予定があるのか。
- ・近年、唐津市内にもグループホームは増えてきている。当グループホームは夜間支援がないためグループホームの入居をためらう方がいる。グループホームを建てるとなると資金確保と人材確保が必要。しかし人材がなかなか集まらない。資金もないし、人材確保ができないためグループホームを建てる予定はない。
- ・双水のからつ医療福祉センターは地元の方2名交代で夜間支援を行っているということ。そのような人が近所にいるといいが。
- ・当グループホームでも夜間支援を考えたが、することがない。仕事がないため夜間支援はしないことにした。
- ・近年、後見人による財産の使い込みが目立っている。一般的に後見人への報酬は高く、報酬を払うために財産が減るといった事態になる方が多いようだ。後見人は裁判所に本人の財産管理報告をしないといけない。報告書等書類作業がたくさんあり大変。社協の安心サポートというサービスがあることは知らなかった。
- ・どういういきさつで成年後見人になったのか
- ・本人が佐賀市の入所施設に入居中、両親の判断能力が難しくなったため、兄弟が代わりに行ったということ。入所施設に勧められてだったかは忘れたが、契約や財産管理などを代行できるようにだったと思う。